

愛車協だより 10月号

令和 3年 10月10日 発行
愛知県自動車車体整備協同組合
発行責任者：正 治 博 史

車体整備士養成講習開講

本年度の教育事業の一環である2年ぶりとなる車体整備士養成講習が小牧教育センターにおいて10月19日に開講されます。受講者は、前回実施した令和元年度より15名増の37名になりました。日程は、10月19日より翌年2月27日まで延べ22日間行われ、講師に当組合からは金原理事長をはじめ、平岩副理事長、岩瀬理事が務められます。座学は小牧教育センターで実施し、実技は(株)三光社において実習されます



特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習

特定化学物質障害予防規則等の改正により、「溶接ヒューム」が特定化学物質の第2類物質に新たに追加され、金属アーク溶接等の作業場では屋内・屋外ともに、作業場ごとに特定物質作業主任者の選任が必要になります(令和4年4月1日施行)当該主任者に選任するためには技能講習の受講が必要になります。技能講習は愛知労働基準協会が主催しています。学科2日間で、毎月愛知県内7箇所ほどで開催されています。詳細については下記にお問い合わせください。



公益社団法人愛知県労働基準協会:TEL:052-221-143 FAX:052-221-1440
ホームページ:<http://www.airouki.or.jp/>

有害物ばくろ防止対策補助金



来年4月から、屋内で金属アーク溶接等作業を実施する事業者は、溶接ヒュームの濃度測定結果に応じ、換気装置の風量の増加その他必要な措置を講じなければならないこととなりました。法令の適用を前に溶接ヒューム濃度の測定を行う事業者は、費用の一部を支援する「有害物ばく露防止対策補助金」が交付されます。応募期間は今年度第2回目ですが、令和3年10月1日~11月31日となっています。補助内容は作業環境測定機関に委託する溶接ヒューム濃度の測定に要する経費の1/2、1人あたり2万円、1作業場辺り4万円が補助されます。申請の流れとしては作業環境測定機関【溶接ヒュームマンガンの測定ができる機関：当組合の賛助会員である株富士環境分析センターでは環境測定を行っています。】に相談の上で測定費用の見積書を作成してもらい補助金申請を行ってください。詳細については下記にお問い合わせください。

申請窓口は全衛連(補助金交付事務代行事業者) 申請書類等の入手 <http://www.zeneiren.or.jp>
相談等 TEL 03-6809-5855 (平日 午前9時30分~午後5時)

スキャンツール導入補助開始

スキャンツールを活用した省エネ推進事業について、公募が始まりました。

- ・期間：10月4日（月）～11月30日（火）
 - ・対象事業者：特定整備事業者・優良認定事業者・自動車整備士在職の整備を行う事業者
 - ・補助対象となるスキャンツールはホームページで補助対象機器一覧として公表
 - ・補助率は補助対象経費の1/3以内
 - ・限度額は1事業場辺りの上限15万円（1事業場につき複数台可能）
- 詳細は、パシフィックコンサルタンツ（株）のホームページをご覧ください。



<http://www.pacific-hojo.jp/>

問い合わせ先 TEL：03-5280-9501

特定整備申請状況

特定整備工場制度に伴う取得済事業者数は、8月末現在、愛知県全体で1771社（愛整振情報）が特定整備工場を取得しており、その内、愛車協組合員の取得数は、次のとおりになります。

- ①整備主任者等資格取得講習者数：139人
- ②電子制御装置の特定整備工場取得者数：74社
- ③内 新規電子制御装置特定整備工場取得者数：5社



知っ得情報・自動車検査手数料の変更

令和3年10月1日より、自動車の検査の際に支払う法定手数料として、(独)自動車技術総合機構の技術情報管理手数料が追加（1台あたり一律400円）されます。技術情報管理手数料の納付は、既存の手数料と併せて行うこととなります。

※手数料は、自動車メーカーが提供する故障診断に必要な情報管理、全国の検査場（車検場）や整備工場が利用する情報システムを運用していくための費用として納付することになっています。

詳しくは 愛知運輸支局 TEL:052-351-5314 中部検査部 TEL:052-351-6228



余談



最近朝晩の涼しさと日が暮れるのが早くなり、スーパーでは松茸がはじめ秋の気配を感じる良い季節となりました。ところで、私事ですが、趣味である溪流釣り（イワナ・アマゴ）ですが10月で禁漁になりました。コロナ禍でも、NO密の状態を楽しみ、よく行く郡上の山の自然の中での釣りは、時にはカモシカやサルなどの出会いもあり、良い気分転換になっていました。来年3月の解禁が待ち遠しいこの頃です。

